



図 5-1 自己、仕事、家庭への掛かり合いを分析するためのモデル  
(A=自己成長への掛け合い; B=仕事への掛け合い; C=家庭への掛け合い)

(E.H.シャイン著「キャリア・ダイナミックス」より)